まち育新聞

第 15 号

〈 発 行 所 〉
総務部まちづくりグループ
政策担当
美幌町字東２条北２丁目
TEL73-1111

美幌町空家等対策計画を策定しました

近年、加速的な少子高齢化による急激な人口減少が進む中、全国的に「空家」が増加し、大きな社会問題となっています。

国は、この空家問題の解決策として、平成27年度に「空家等の発生抑制や危険な空家の解消を促す「空家等対策の推進に関する特別措置法」を完全施行しました。この法律に基づき、空家等対策を総合的かつ計画的に進めるため、本計画を策定しました。

管理不全な状態が続くとさまざまなリスクが発生

私たちの町において、平成29年度に行った外観目視による現地調査では、**４００棟を超える建物が「空き家と思われる」**という調査結果となりました。

適正な管理が行われていない空き家は、防災、防犯、環境、衛生等に多くの問題を生じさせ、生活環境に悪影響を及ぼす可能性があります。これらの問題に対応するため、町では空家等対策計画を策定し、今後この計画に基づき様々な取組を進めて行く予定です。

今回はその概要をご紹介いたしますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いします。

◆空家等対策計画とは

防災や衛生等の生活環境の保全を図るため、空家等の発生の抑制や危険な空家の解消を促すなど、空家等対策を総合的かつ計画的に進めることで、町民の皆様が安心・安全に暮らせて、活気あるまちづくりを推進する目的で策定した計画です。

○基本的な方針

①住民の安心・安全を確保
管理不全な空家等を解消し、町民の皆様が良好な環境で安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。

②空家等の利活用の確保
利活用可能な空家等は地域の貴重な資源と捉え、利活用を促進させます。

③多様な主体との連携
空家等の対策は、町、所有者のみでは解決できない問題です。地域住民や関係団体と連携して空家等対策を推進していきます。

○空家等の対策

①空家等の発生抑制
・広報誌やホームページ、パンフレットなどを活用した周知・啓発
・使用しなくなった住宅等の処分や利活用についての相談体制の整備
・既存の補助制度を活用し、安心・安全に長期間使用し続けられる住宅等への改修を促進

②空家等の利活用
・中古住宅市場への流通を促進させるための関係団体との連携
・利活用を促進させるための支援策等の検討
・「北海道空き家情報バンク」への登録促進や町独自の「空き家情報バンク」創設を検討

③管理不全な空家等の解消
・所有者等に対し適正管理について注意喚起
・町の各部署が連携して対応するための「庁内連携会議」を設置
・特定空家等の解消

適正な管理を行うことが、安心･安全な暮らしを確保し、危険な空家の解消と空家の利活用を促進させます！

○空家等対策における今後予定している取組み（一部）

①空家等対策の周知・啓発
②出前講座の実施
③相談窓口の設置
④特定空家等に対する措置

※特定空家等とは

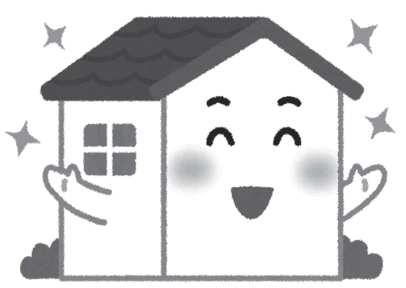
空き家のうち、放置することが不適切な状態にあり、倒壊等保安上著しく危険となるおそれ、著しく衛生上有害となるおそれや、著しく景観を損なっている状態などの建物（敷地含む）

◆空き家になったら…

★月に１回程度の定期的な点検を!!
・屋根・軒裏・外壁等の浮きや剥がれの確認
・換気の実施
・庭の草木などの状態の確認　等々

※半年に１回はじっくりと点検することも重要です！

★「放置」は様々なリスクが!!
・建物の劣化
・事故・二次災害の誘発
・損害賠償支払いへの発展



◆北海道空き家情報バンクを活用しましょう!!

北海道空き家情報バンクとは、空き家・空き地の賃貸・売却を希望する所有者から寄せられた情報を北海道が運営する検索サイトに登録して、空き家・空き地の利用を希望する方に情報提供するシステムです。

https://www.hokkaido-akiya.com/

まちのランドマーク

「カントリーサイン」が新しくなりました！

昨年、美幌峠を題材とした「カントリーサイン」新デザイン投票を実施し、町民の皆さまによる投票の結果、新たな美幌町のランドマークとなる「カントリーサイン」が決定いたしました。その後、道路管理者との協議を終え、国道６箇所、道道５箇所に新たなデザインの「カントリーサイン」が設置されました。

平成31年３月13日には、新デザインの題材となった「美幌峠」において「カントリーサイン変更セレモニー」を実施いたしました。

◆変更の経緯

これまで、カントリーサインのデザインは、当時振興対策として推進していたスカイスポーツを題材とした「パラグライダー」となっていましたが、カントリーサインはその町をイメージできるものが望ましく、平成30年１月に開催した「高校生模擬議会」において、「美幌町のイメージとしてふさわしいデザインにすべき」との意見が出たことを背景に、美幌町のイメージや観光資源を反映したデザインへと変更することといたしました。

◆デザインについて

美幌町の観光の核となる「美幌峠」を候補として、町民皆さまにアンケートを行い、それを基に町で検討した結果、「美幌峠」を題材とすることで決定いたしました。

この題材を基に５つのデザイン（案）を作成し、町民の皆さまによる投票を行った結果、上図のデザインとすることに決定いたしました。

変更セレモニーの実施

新デザインのカントリーサインのお披露目として、平成31年３月13日に「美幌峠」において「カントリーサイン変更セレモニー」を実施いたしました。

デザインを変更するきっかけとなった高校生模擬議会の参加者６名を含む美幌高校生徒会執行部14名の皆さんにも、セレモニーに参加していただきました。

記念として、土谷町長よりカントリーサインの「ミニチュア版」を美幌高校へ贈呈いたしました。受け取った生徒会長の澤田さんは、「昨年１月に開いていただいた模擬議会で質問したことで、本当に変わって嬉しい。ミニチュアはその誇りとして学校に飾っておきたい。」と感想を述べていました。

最後に除幕式を行い、セレモニー参加者全員で新たなまちのランドマークの誕生を祝福しました。

新カントリーサインの前で記念撮影

びほろボランティアの旅 ⑮

今回は **美幌出前おはなしの会「がらがらどん」** の活動をご紹介します

絵本を通した時間と空間の共有は宝物

どんなお話が始まるのだろう…という期待の表情、そして表紙を捲り一行ずつ読んでいくと、会場の皆さんは絵本の挿絵とともに一様に笑顔になっていきました。去る三月二日美幌町図書館で実施しました公演の様子です。しかも、絵本を読んでくれたのは、小学校二年生と幼稚園の年中の子です。その子自ら、私達の公演の日にちを前もって聞き、「読みたい」と言ってくれ、一生懸命で、しかも天使の様な声で読んでくれました。

この日は他に、「ウサギとカメ二度目の大レース（人形劇）」もしました。皆さんに楽しんで頂けるよう、セリフを覚えようと頑張りましたが、結構難しいものです。演じる側が良いと思っても、客観的に見ると良い動きにならず、人形の動きを工夫するなど練習を重ねました。その甲斐あってか、大勢のお客様が来て下さり、声援を送ってくれるなど、温かい雰囲気に包まれました。このように会場の皆さんと空間と時間を共有できるのはライブ感覚で、テレビやゲームに無い物です。

その一週間後、保育園で出前公演をしました。ピアノの上手な方に伴奏を付けてもらいながら続けています。冬などは約束の朝、自習の時間に間に合うよう車のガラスの凍結を溶かし、道路状況に注意しつつ交通安全に留意して通っています。学校で子ども達に「今日、がらがらどんの日だ！何よむの？」と言われると大変嬉しく、又輝く瞳で聴き入ってくれるので、遣り甲斐を感じております。

平成八年に発足し、皆さんに支えられ継続できていることに感謝しております。

美幌町図書館での公演の様子

旭小での読み語りの様子

連絡先・代表者　小川　慶子
０１５２-７２-２１５８